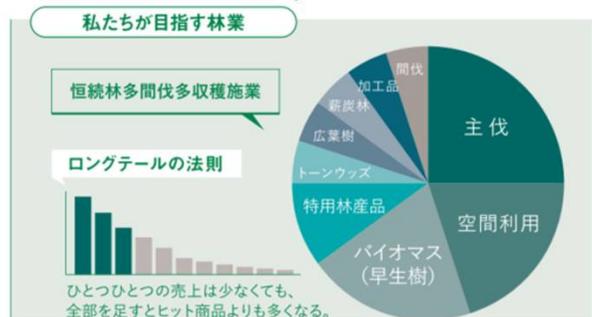
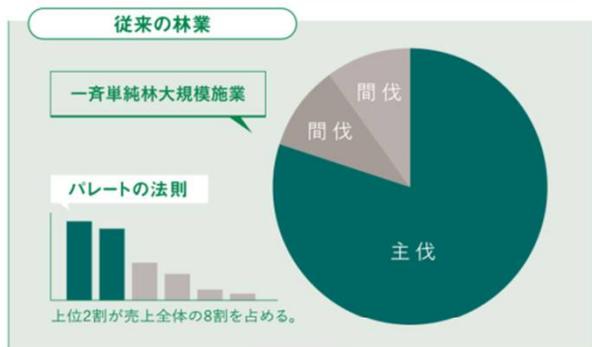


# 参考情報 | 当社の狙い：森林資源価値の最大化

✓ 当社グループ全体で、三重・奈良・和歌山エリアに計4,000ha（東京ドーム855個分）の所有・施業受託管理による森林整備・素材生産、生物多様性・CO2吸収などの各種森林クレジット創出事業を手掛けています。

## 恒続林多間伐多収穫施業



施業五原則 自然本来の力、生態系サービスを最大限活用した持続性の高い恒続林を目標に、以下の「施業五原則」に則って林業を展開します。



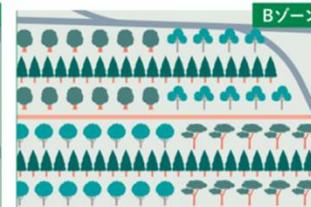
## ゾーニング

森林を適切に「ゾーニング」し、多様な空間利用を図ります。数種を大量生産する林業に拘らず、少量でも多品種を生産していきます。そして人手をしっかりとかけるところと自然に任せるところ、多種共存による木材生産の森、面的な森林利用から空間的な森林利用へのシフトなど、どのような形が望ましいかを深く考えて森に関わっていきます。

然に任せるところ、多種共存による木材生産の森、面的な森林利用から空間的な森林利用へのシフトなど、どのような形が望ましいかを深く考えて森に関わっていきます。



スギ・ヒノキなどの主材をしっかり管理するゾーン。



早生樹・有用広葉樹など、多様な種で構成するゾーン。



高齢林化を目標とし、空間利用も図るエリア。

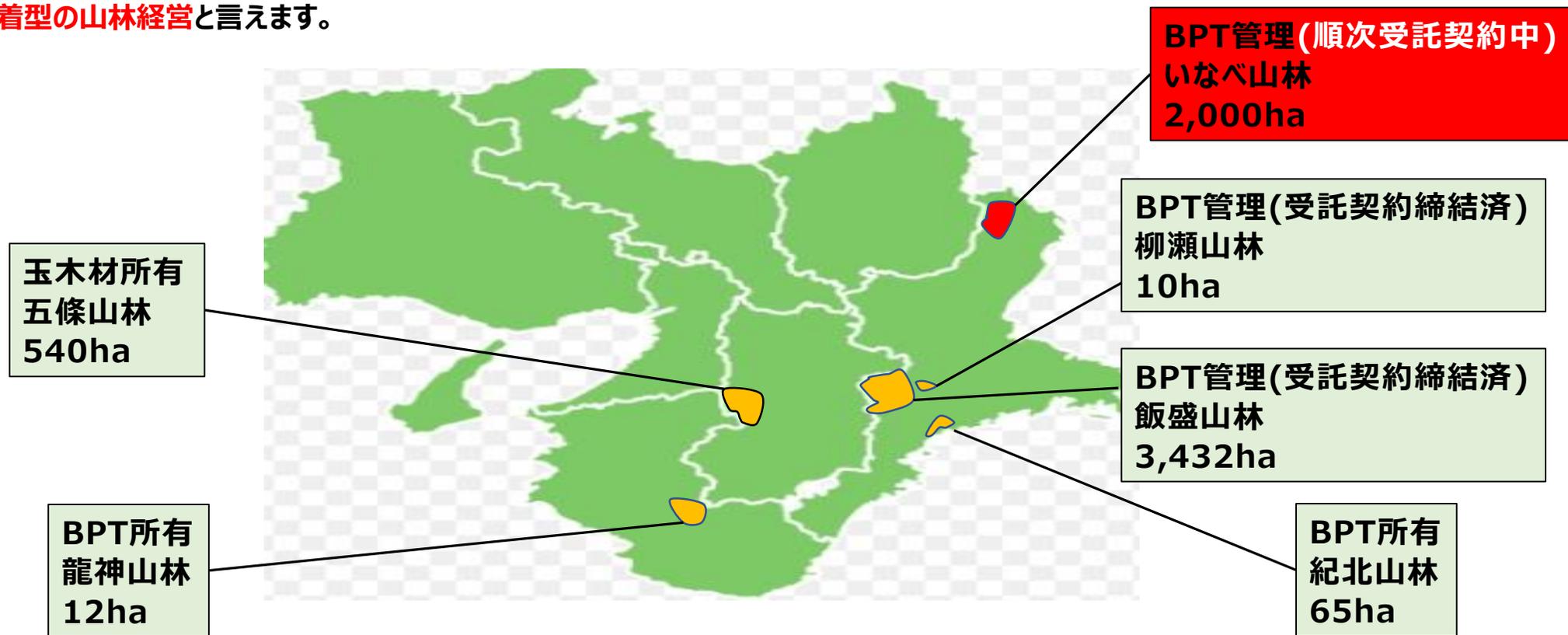
スマート林業の推進・実現により、森林経営にイノベーションを起こし、日本林業再生の一翼を担う。

～グリーンエネルギーは使う時代から創る時代へ！ インターナルカーボンサーキュレーションシステム『シン・バイオマス®』による地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造～

# 参考情報 | 当社の狙い：森林資源価値の最大化

BPT・玉木材にて所有・受託管理する森林マップ 詳細 (2025年9月1日現在)

紀北65ha+龍神12ha+柳瀬10ha+飯盛3,432ha+五條540ha+いなべ2000ha = 計6,059ha(東京ドーム1,297個分)  
本州で6,000ha超の山林管理面積は住友林業とほぼ同じです。住友林業が6府県に所有するのに対し、BPTは3県に跨るだけでより地域密着型の山林経営と言えます。

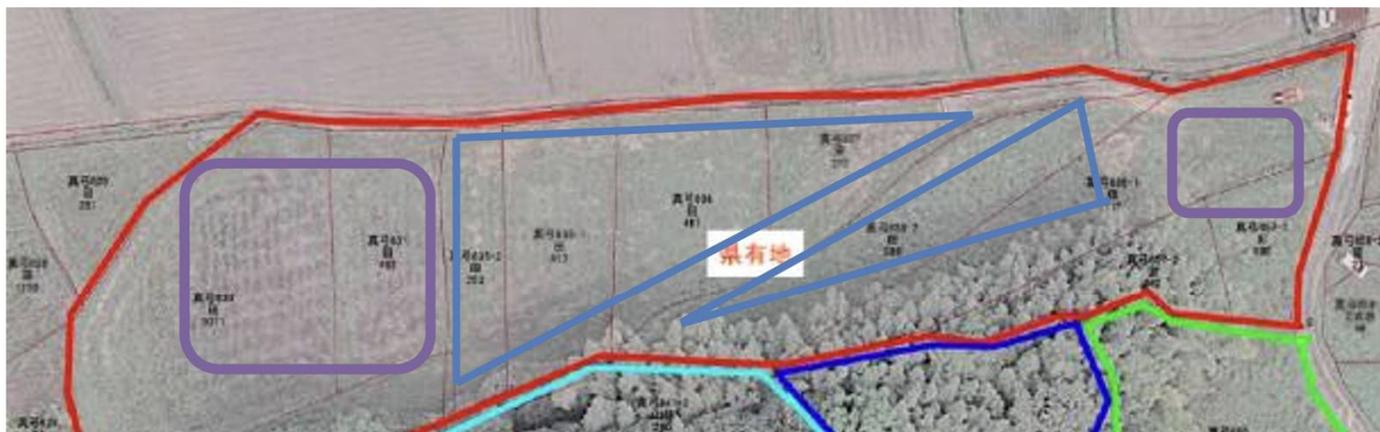


# 参考情報 | 放置竹林整備・耕作放棄地の再生植栽事業

## ■ 明日香村（耕作放棄地）（奈良県高市郡明日香村：標高95m）

### センダン・タチヤナギ・シダレヤナギを植栽

- 2024年10月にセンダン、タチヤナギ、シダレヤナギの植付を実施（0.05ha）。残りの0.45haは2025年6月に植付予定。



動画：明日香村耕作放棄地活用 植樹イベント



景観に配慮した獣害対策  
ネット設置予定

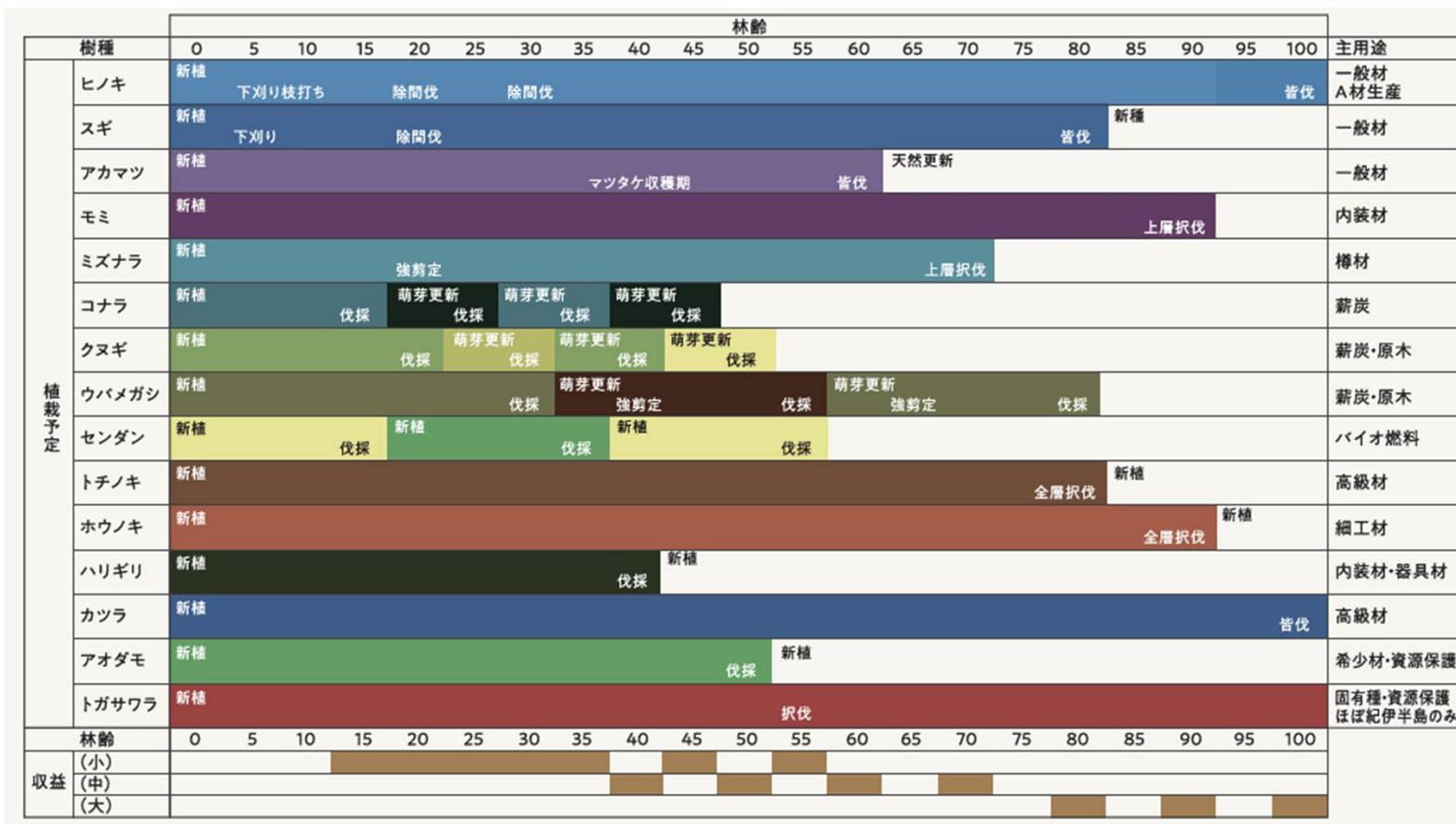


ヘキサチューブ設置



# 参考情報 | 多樹種植栽による針広混交林ゾーニング事例

## 多樹種植栽管理による多収穫施業のイメージ



～グリーンエネルギーは使う時代から創る時代へ！ インターナルカーボンサークキュレーションシステム『シン・バイオマス®』による地方創生型カーボンニュートラル新産業の創造～

# 参考情報 | ドローン活用による持続可能な森林づくり

## ■ 勢井実証地（奈良県五條市西吉野郡勢井：標高590~742m）

### ドローンによる苗木運搬（6000本）後下記植栽計画に基づき植付を完了

将来の集材方法として架線集材を想定。  
架線下となり容易に搬出できる場所に  
早生樹センダンを配置。

①架線索道から外れ搬出しにくいところ  
には長伐期のスギを配置

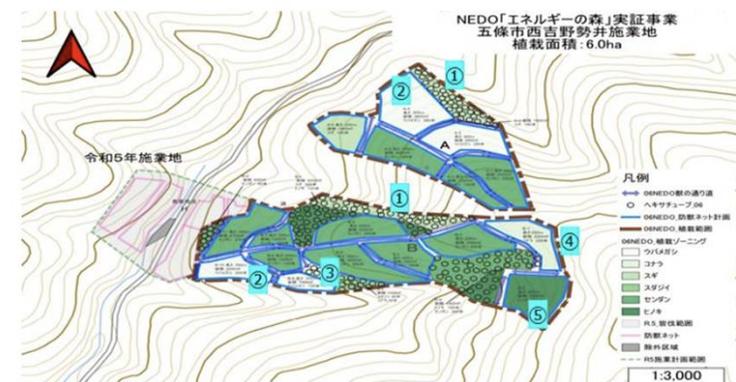
②架線索道上ではないが集材困難とま  
ではいかな日照時間の短い斜面にウバメ  
ガシを配置。

③架線索道上ではないが  
集材困難とまではいかな  
日照時間の長い斜面に  
コナラを配置

④高低関係で一番高い場  
所にも葉を落とし土に養  
分を供給する意味で強い  
日差しにも耐えるコナ  
ラを配置

⑤索道上だが少し距離が  
遠く日照時間の短い位  
置にヒノキを配置

### 動画：ドローンによる林業資材運搬を徹底解説



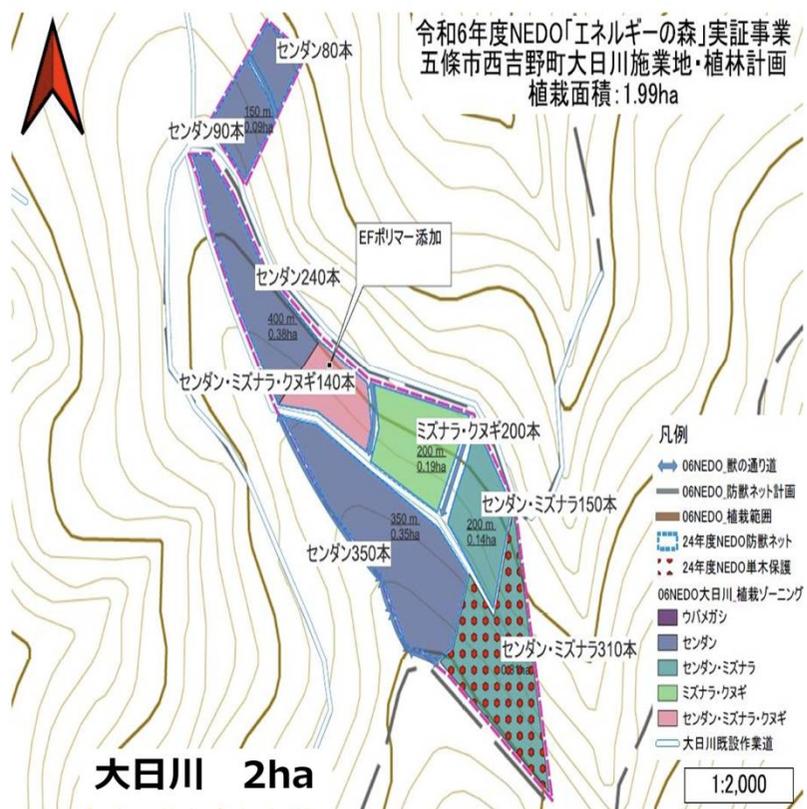
苗木荷上げ6000本



植付およびヘキサ設置

# 参考情報 | ドローン活用による持続可能な森林づくり

## ■ 大日川実証地（奈良県五條市西吉野郡大日川：標高560~620m） 防獣ネット及びヘキサチューブの設置と植付を完了。



ヘキサチューブ設置



防獣ネット設置



ネット内植付

- 勢井実証地（奈良県五條市西吉野郡勢井：標高590~742m）  
標高差最大200m超の急傾斜地においてドローンによる防獣資材荷上げを実施
- ・ ドローンによる防獣資材荷上げ(300往復)を実施。ロボキャッチャー(自動荷外し機)も活用し、円滑な荷上げを達成。

### 作業概要

- ・ 5日間にわたるドローン300回の飛行で総重量約5.2トン(防獣ネット4000m,単木保護資材1250本分)を荷上げ。
- ・ この作業を人力でする場合の日数を試算した結果、6名での作業でほぼ一月間荷上げ作業に費やすこととなった。但し、作業負荷が大きいので、連日の作業は肉体的に不可能であると思われる。

